

黒潮

和歌山県看護協会 会報

第158号

令和4年1月発行

CONTENTS

- 年頭のご挨拶 2
- 叙勲受章 2
- ナース章を受章して 3～5
- COVID-19 感染管理認定看護師による
感染管理について
(トピックス 2021) ... 6～7
- プレゼント 7
- 地域連携のコーナー 8
- 医療安全数珠つなぎ 8
- リレーエッセイ 友達の輪 8
- 施設だより 9
- 訪問看護ステーションだより ... 9
- 男の時短料理 10
- 令和3年度
第1回施設会員代表者を開催 ... 10
- 海南市防災訓練に参加しました ... 10
- 社会経済福祉委員会からのお知らせ ... 11
- 選挙管理委員会からのお知らせ 12
- 和歌山県看護協会の動き 12



西岡病院 ▶ <施設だより> (9ページ掲載)



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 和歌山県看護協会

発行所 公益社団法人 和歌山県看護協会

発行人 東 直子

〒642-0017 海南市南赤坂17番地 TEL.073-483-1005 FAX.073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

和歌山県看護協会会員数

令和3年12月17日現在 登録者数

会員総数	6,275名
名誉会員	2名
保健師	141名
助産師	215名
看護師	5,788名
准看護師	129名

新年のご挨拶

公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 東 直子



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新たな気持ちで、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、本会の事業推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和2年初頭から猛威を振るい始めた新型コロナウイルス感染症が未だ収束を見ないなか、あらゆる現場で対応されている看護職の皆様に敬意を表するとともに感謝申し上げます。

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、「効率かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアの構築」が急務の課題となってきました。また、中長期的な人口減少・高齢化の進行を見据えつつ、今般の新型コロナウイルス感染症への対応により顕在化した地域医療への課題を含め、地域の実情に応じた質の高率的な医療体制を構築することが求められています。

和歌山県でも地域包括ケアシステム構築が推進されるなか、「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換が進み看護職の活躍の場は広がっていますが、どのような

場においても看護職は、適切な保健・医療・福祉を提供し、人々の生活の質が高まるように機能しなければなりません。県民誰もが、「住み慣れた地域で安心して適切な医療を受けられる社会」を実現するためには、看護職を軸とした多職種連携が、今後ますます必要になってきます。

和歌山県看護協会においても、このような現状や課題をしっかりと認識し、本協会の理念である「県民の健康な生活の実現」を目指して ①看護の質の向上、②看護職がいきいきと働き続けられる環境づくり、③看護領域の開発・展開を使命に取り組んでいきたいと思っています。

今年も従来の活動とは言えない状況になることが推察されますが、それを補いながら活動していかなければと考えています。会員の皆様と意見を図りながらポジティブにしっかり活動してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

この新しい年が、皆様にとってより佳き年となりコロナ禍の一刻も早い終息を心より祈念いたしまして、私からの年頭の挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお願い申し上げます。

*** 叙 勲 受 章 ***

旭日双光章を 受章して

公益社団法人 和歌山県看護協会
前会長

古川 紀子



この度、令和3年度秋の叙勲に際しまして、旭日双光章を賜り身に余る光栄とともに喜びと感謝の気持ちで一杯です。ご推挙下さいました和歌山県看護協会の皆様に深く感謝申し上げます。

現在看護界は重要な課題を数多く抱えております。今まで私たちが培ってきた経験と知識・技術に加え、看護職能団体としての強い組織力で、これらを乗り越え新しい時代を迎えていければと思います。

この受章を機に、改めて看護の重要性を再確認し、この章に恥じぬよう一層精進してまいります。

最後に、和歌山県看護協会の益々のご発展をお祈り致します。

瑞宝単光章を 受章して

独立行政法人労働者健康安全機構
和歌山労災病院

仲澤 妙美



この度、瑞宝単光章という章を頂きましたこと身に余る光栄でございます。これもひとえに皆様のご助言や、ご支援の賜物と感謝しております。

看護の道一筋に37年間歩んでまいりましたが、今振り返りますと、改めて周囲の皆様の支えがあったからこそと万感の思いでいっぱいになりました。

今後は、この栄に恥じないように、与えられた職務に微力ではありますが、精進して参りたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。



令和3年度 ナース章受章おめでとうございます



* コロナ感染症予防のため、密を避けて2グループに分かれて写真撮影されました。

*** ナース章を受章して ***

この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り、大変光栄に存じます。今日まで支え導いて下さった多くの皆様に感謝申し上げます。

看護の道を歩む中、患者さんやご家族、先輩や同僚から多くのことを学ばせていただきました。また県下の看護管理者の方々との出会いでは、看護の奥の深さを学び、多くの刺激を受けました。

和歌山県立医科大学附属病院 池下 ゆかり

私は、「思いやり」の気持ちを大切にすることこそが看護の原点と信じ、日々心掛けてきました。多様化、そしてさらに多忙化する医療の現場では、看護師はその心を見失いがちになります。常に相手に対し、「思いやり」の気持ちを持って看護が提供できるよう支援していきたいと思います。今後ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



ナース章を受章して



ひだか病院 小松 香世美

この度は、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄に存じます。ご推薦下さいました関係各位の皆様方に心からお礼申し上げます。

看護師として仕事をさせていただき 36 年、今思えば私の周りにはいつも私を支え、導いてくださる方々がいました。その方々との関わりの中で人として、そして看護師として成長させていただいたと深く感謝致します。

コロナ禍による急激な社会変化もあり、ICT や AI が進む中での看護職への期待はますます大きくなり、この受章に恥じぬよう思いやりの「看護の心」をもって地域のため、ともに働く看護職と力を合わせて日々精進してまいります。今後ともご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。

国保ささみ病院 宮崎 眞理

この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り身に余る光栄にございます。ご推薦下さいました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

今まで看護師の仕事を続けられたのは、ご指導ご支援下さいました上司や同僚、多くの皆様に支えられてきたことと、家族の理解があったからだと心から感謝しております。

現在は、病棟・地域医療連携室を担当し入退院調整を

行っておりますが、近年高齢化が進み、独居・認知症・老老介護など様々な問題を抱え生活されている方が多く、在宅生活を支えるのは簡単なことではありませんが、多職種と連携し、住民のみなさまが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、支援を続けていきたいと思っています。

今後も看護専門職として精進して参りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

紀南こころの医療センター 鬼塚 哲郎

受章して光栄に思います。お世話になった先輩方・同僚・後輩の皆さんのおかげと考えております。

何故か学校卒業以来、精神科一筋となっていました。が、これはこれで良かったのかなと思います。楽しかった

こと辛かったこと色々ありました。特に患者さんとの関わりは難しいものがあり、四苦八苦してきました。

今年で定年退職となりますが、何か看護には関わってみたいと思っています。

済生会有田病院 新界 紀子

この度、栄えある和歌山県ナース賞を賜り、身に余る光栄に存じます。ご推薦下さいました関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

和医大付属病院の手術室から始まった私の看護師人生は、38 年続きました。時代の流れとともに病院のあり方も変わり、多くの出会いがあり、多くの経験をさせていただきました。その都度ご指導・ご支援いただいた皆様

に心より感謝申し上げます。

看護師を取り巻く環境は、まだまだ厳しいですが、このコロナ禍を乗り切って、少しでも「看護師を続けて良かった」と思えるような環境になればと思います。

今回の受賞を励みに、もう少し頑張ってみようと思います。今後ともご指導よろしくお願い致します。

和歌山県立医科大学保健看護学部 服部 園美

この度、栄えある和歌山県ナース賞を賜り身に余る光栄に存じます。ご推薦下さいました関係者の皆様に心から深くお礼申し上げます。

和歌山県立医科大学附属病院に就職し、患者様や上司、同僚の皆様に支えられ、育てていただきました。保健看護学部では、学生から若さを吸収し、上司や同僚から多くのことを学ばせていただきました。看護師という仕事

に巡り合い、臨床と教育の場を経験し、働き続けてくることができとても幸せを感じています。

超高齢社会のなか、老年看護学教育の担う役割は大きいといえます。健康づくり、認知症や終末期ケアなど多くの課題があります。心新たに看護の未来を学ぶ学生を育み、ともに成長し続けていきたいと思っています。

和歌山県立なぎ看護学校 釜坂 加寿恵

この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄に存じます。ご推薦くださいました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。また、ご指導いただいた諸先輩方はじめ、同僚の方々の支えがあったお陰と深く感謝しております。

保健師としてのこれまでを振り返りますと、地域住民の方々や関係機関の方々との出会いから多くのことを学

ばせていただき、支えられながら歩み続けることができましたと思います。

看護職に求められる役割や期待は、時代とともに変化していきますが、今後も微力ながら地域保健の推進に関わっていきたいと思います。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

和歌山県立医科大学附属病院 中山 美代子

この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄に存じます。ご推薦くださいました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

これまでにご指導いただきました諸先輩方、常日頃からご支援いただいている同僚の方々に深く感謝申し上げます。また、多くの学びを与えていただいた患者さんに心から感謝申し上げます。

和歌山県立医科大学附属病院に入職後9年間看護師として勤務し、その後10年間、専任教員としてたくさんの学生とともに学ぶことができました。医大病院での最後の10年間は医療安全管理者として医療を見つめてまいりました。

この受章を励みに、これからも看護に邁進してまいります。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

日本赤十字社和歌山医療センター 山崎 裕子

この度は、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄に存じます。ご推薦くださいました関係者の皆様に、心からお礼申し上げます。

また、ご指導頂きました諸先輩方、温かく見守り、支援してくださった同僚、家族に心より感謝申し上げます。

入職後、看護の現場で数え切れないほどの体験をし、看護実践を通じて自分自身が学び、成長させていただく

機会となり、39年間看護師を続けられたことに感謝しています。

医療安全に携わる機会も多く、多職種チームでの取り組みや患者・家族、スタッフへのサポートの大切さを感じております。今後も、役割を果たすため努力を重ねて参ります。なお一層のご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

日高川町役場 尾崎 久美

この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り身に余る光栄に存じます。ご推薦くださいました関係者のみなさまに心よりお礼を申し上げます。

多くのことを学ばせていただいた地域住民のみなさま、ご指導ご支援いただいた諸先輩方や同僚、友人のみなさまのお陰と深く感謝申し上げます。

保健所保健師から町村保健師となり、地域の方々と共により良い地域づくりをめざし活動してまいりました。

関係機関・関係者の方々に支えられ、楽しく保健師活動ができました。

今はコロナ禍にあり、看護職に求められる期待は大きくなっています。これからも微力ながら、みなさまと共に連携・協働できるよう頑張って参りたいと思っております。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

東 登紀子

この度は、栄えある和歌山県ナース賞を賜り身に余る光栄に存じます。ご推薦くださいました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

短い看護師生活の後、念願だった行政保健師になり、気がつけば30年が過ぎていました。

平成から令和に時代が変わる中、公衆衛生看護を遂行するにあたり指導して下さった先輩や同僚、後輩そして関係者の方々に感謝しております。

そして何より、地域住民の皆さまが未熟だった私を成長させてくださいました。この仕事を選んで本当によかったと思っています。

コロナ禍において公衆衛生看護の重要性が求められる中、これからも微力ながらお役に立ちたいと考えております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

備えは大事

～ 訓練と感染対策用品の備蓄について ～

ひだか病院 感染対策室 上道 雅和



2018年に行った
御坊保健所と二類感染症の受け入れ合同訓練

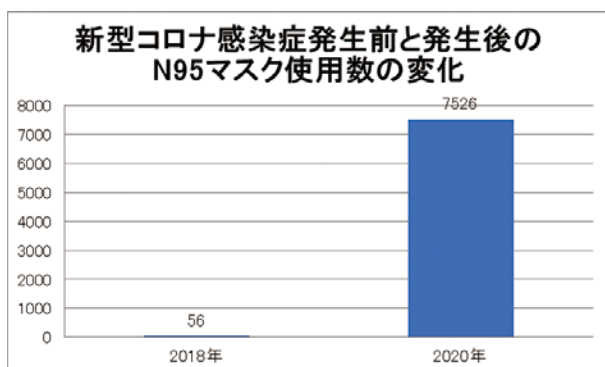


自然災害の多い日本では、各医療機関でも災害にそなえ関係機関との共同訓練や自施設単独での訓練を定期的に行っているかと思います。

ただ、感染症については、世界的な感染症流行（パンデミック）や地域内での感染症の流行（エビデミック）などに備えての訓練については、あまり実施されていなかったのではないのでしょうか。当院は第二種感染症指定医療機関ですが、関係機関と合同で訓練を長らく行っておりませんでした。

2018年に私が感染対策担当者になって以来、初めて御坊保健所と二類感染症の受け入れ合同訓練を行いました。各施設の保有器材の確認、搬送、搬入方法の確認と実施、患者の受け入れ等の訓練を行いました。訓練を行う事で実際の動き、問題点や役割を把握する事が出来ていたため、新型コロナウイルス感染者の初めての受け入れの際も、比較的スムーズに対応することが出来ました。

訓練だけでなく、御坊二次医療圏の病院と御坊保健所とで2019年から御坊感染ネットワークを立ち上げました。地域内や社会で問題となっている感染症などの情報共有の場を設ける事によって、担当者との情報共有も容易にとれるようになっていました。



訓練も大切ですが、安全に業務を行うためには、个人防护具などの物品管理も重要です。訓練と同じ平時から備える必要があります。2009年に発生した新型インフルエンザの流行の際にも、今回と同じようにサージカルマスクが不足しました。

今回の流行の際には、新型インフルエンザの教訓をもとに国内発生前から个人防护具の備蓄を強化しておりましたが、必要とした防護具の種類と数が桁違いに多く、个人防护具だけでなく手指消毒剤までも不足する事態になってしまいました。

个人防护具の多くは、海外の限られた国から輸入され、医療機関への供給は外部委託が担い、在庫管理の観点から必要最小限の量を備蓄しているため、供給トラブルに対して脆弱な面があります。今回の流行に際し

では、用度課や SPD センターの奮闘や、和歌山県看護協会や行政機関、民間からの支援によってどうにか乗り越えることが出来ましたが、構造的な問題を抱えている状態が続いておりますので、将来同じ問題が起きる可能性はあるかと思います。



物品調達で尽力して頂いた用度課とSPDセンター

まとめ

1

将来に備えて折をみて自施設内、関係機関との感染症に対する訓練も必要である。

2

地域の関係機関と交流を積極的に持ち、顔の見える関係を築いておけば、事が起こった時に協力が得られやすい。

3

安全な職場環境で業務を行うためには、必要物品の安定供給が不可欠。備蓄の強化について検討が必要だが、解決すべき課題が多く物品管理を行う部署との協力が不可欠。

第41回

プレゼント!

はがきに ①氏名 ②会員番号 ③郵便番号・住所
④電話番号 ⑤勤務先名 ⑥本紙へのご意見・ご要望を明記の上、
2月28日(月)までにお送りください。(消印有効・1人1通のみ)
抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



「足まくら」

または

「クオカード」

1,000 円分

5名様に!

どちらか1つ
当たります!

宛 先 〒642-0017 海南市南赤坂17 和歌山県看護協会 「1月号プレゼント」 係

プレゼント

応募者の
声

● 身近な病院が取り上げられており、その病院でどういう取り組みがされているか知れて、毎回楽しんでみえています。コロナの対応の記事も参考になりました。

地域連携のコーナー

「地域連携室」の活動や最新情報

橋本病院 看護部長 中谷 誠



【地域連携室スタッフ紹介】

社会福祉士（ケアマネージャー経験あり）	1名
退院支援看護師（在宅医療経験あり）	1名
事務員	2名

橋本病院は、消化器外科及び整形外科を中心とした外科系病院であり、急性期から回復期、慢性期に至るまで幅広いニーズに対応できる病院として地域医療に貢献しています。来年 2022 年には開設 70 周年を迎える歴史ある病院です。

当院の特徴を紹介します。消化器外科では、がん治療への高度な医療を実施する一方で、胆石や鼠経ヘルニアなどの良性疾患手術にも対応しています。また、抗がん剤治療における皮下埋込型ポートといわれる CV ポート設置術件数は県下トップの実績があります。整形外科では、外傷を中心に膝関節や股関節の人工関節置換術、人工骨頭置換術、骨折観血的手術、関節鏡下半月板縫合術など年間約 300 例を実施しています。当院には、大病院や慢性期病院にはない役割が求められています。コンパクトだけれども厳選された、そして絶対必要な医療サービスを提供する。橋本病院に受診すれば、ある程度の事は解決できるといった、地域住民の生活に密着した身近で立寄りやすい病院であるよう心がけています。

月間入院患者数は 100 ～ 120 名おられますが、入院患者皆さんが元気になって自宅に帰るための支援を

行っているのが「地域連携室」です。

前方支援として、各医療機関や様々な保険・福祉・介護サービス機関からの紹介患者さんをスムーズにお受けするための調整窓口があります。入院後は、入院前の生活状況等の把握のため、担当ケアマネージャーより情報提供を頂き 1 週間後を目途に医師を含めた多職種カンファレンスにて患者さんの情報共有を図ります。後方支援としては、患者さん・ご家族の立場で入院から退院まで、安心して入院生活が過ごせるように支援します。また、患者さんやご家族が不安なく退院できるように医療チームが密に連携し、患者さんが退院後、住み慣れた地域・生活の場で安心して生活・療養ができるように、地域医療・介護・福祉関係者と連携をとり調整します。当院の在宅復帰率は約 90% と非常に高く、今後も患者さんに寄り添った退院支援ができるよう関わらせて頂きます。

医療安全

数珠つなぎ



和歌山県立こころの医療センター

医療安全推進担当 山本 初太郎

令和 2 年度より医療安全推進部門が新設されました。専従者 1 名の体制で院内の医療安全の構築を目的に活動しています。

インシデントレポート提出で多い「転倒・転落」と「与薬」については、再発防止策として、安全パトロールや医療安全情報メールの発信などの活動を行っています。手順や決定事項が守られる職場風土の醸成に繋がればと考えています。

今後も患者さんの安心・安全な入院生活を確保する活動に一層努力してまいります。

今回は、和歌山県立医科大学付属紀北分院
森口 奈美 さんをご紹介します。

リレーエッセイ

友達の輪

Vol.69



橋本市民病院 東 季映

拾った猫 2 匹が 5.5kg と 6.7kg と、大きく可愛く育ち、家族を癒してくれています。

この夏に臨床指導者講習会に参加しました。自分の学生時代を思い出しつつ、オンライン講習やレポート課題・指導案作成に取り組みました。新しい学びと出会いはとても良い経験でした。実習生の受け入れを各病院でも再開し始めました。コロナ禍で経験の少ない学生さんに良い実習をしてもらえるように講習会の学びを活かしたいです。

今回は、新宮医療センター 助産師の
山本 恵 さんをご紹介します。

施設だより

西岡病院

看護師長 高垣 ふじ代



当院は昭和 56 年に有田郡有田川町に 19 床で西岡整形外科医院として開業しました。翌年には医療法人となり「たちばな会西岡病院」となりました。「良い医療を行い患者の満足を得る」という基本理念のもと、急性期・回復期・療養型の特性を生かし、職員一丸となって地域医療に貢献してきました。

三次救急医療機関などとも連携を図り、急性期の治療を終えた患者さんを地域で受け入れ、病状の回復、社会復帰へのサポートを多職種が連携して行っています。

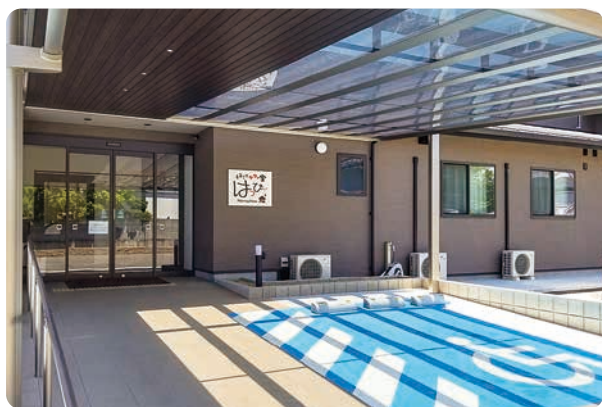
平成 27 年には回復期病棟を開設、急性期からの一貫したケアが提供できるようになりました。病棟でスタッフ全員が患者さんの今後を考え何が必要か、何ができるかを実践しています。高齢者同士で支えあって生活されているケースも多く、退院に向けての支援が難航する場合も出てきますが、回復期病棟でしっかり訓練することで選択肢が広がってきます。

また、有田では「退院調整ルール」というものがあり、これにより在宅での情報がケアマネージャーから病院へ伝わり、退院時もよりスムーズに対応できていると感じています。

平成 9 年に 20 床で開設された腎センターは、現在 41 床となり多くの患者さんが治療されています。透析患者さんの中には長期にわたる入院生活を送られている方もいます。そのような患者さんそれぞれの個性に応じた看護を提供できることを目標にしています。

コロナ禍で感染予防のための業務は勿論ですが、精神的な負担も増えました。スタッフ同士が互いに協力し、支え合いながら「こうしたら良くなるのではないか」と建設的な意見を述べてくれるのが当院です。

今後もこのポジティブなスタッフたちと共に、地域に密着した医療を行い、患者さんの満足が得られるよう頑張っていきたいと考えています。



訪問看護ステーション ハッピーライフ

代表 南 たえこ

訪問看護
ステーション
だより

当ステーションは、2001 年に開設、コロナ禍で、気づかない間に 20 周年を迎えました。開設当時のスタッフは、エネルギーで泥臭くて「人情味あふれる」ステーションでした。2000 年に介護保険が制定されたばかりで、多くが手探りの状態だったこともあったのだと思います。

その後、改正が繰り返され、制度が洗練されていく中、個々の利用者の生活状況に合わせて提供していたサービスが継続できなくなるなど、多くの葛藤がありました。そんな時代の流れに合わせて訪問看護だけでは対応が難しくなり、訪問介護、通所介護、居宅介護支援、と他部門を開拓していき、2018 年にナーシングホームを開設。自宅で過ごすことが各々の事情で叶わなくなった利用者の受け皿となるためです。私たちにできることは限られていますが、せめて関わった方には、できる限り「ハッピー」に過ごしてもらいたい。その思いは今も続いています。「在宅の不思議な力」皆さんも体験してみませんか。

令和3年度 第1回施設会員代表者会を開催しました



東会長から協会事業説明



社会経済福祉委員長から結果説明



3分の2はWeb受講でした

日時：令和3年10月16日（土）13：30～ 出席者：95名（Web受講含む）

和歌山県看護協会会長から日本看護協会の動きと和歌山県看護協会事業説明の後、「県内におけるハラスメント対策の現状」として、昨年度、社会経済福祉委員会が実施した「ハラスメントに関するアンケート調査」について、委員長の竹中武馬氏（中谷病院）から結果報告がありました。その後、日本看護協会参与の友納理緒氏を講師に迎え、「ハラスメント対策と予防対策における看護管理者の役割」をテーマに講演会を実施しました。

参加者からは、「ハラスメントを正しく理解しなければならなかった」「職員間の対応、管理者としての注意も学べた」「周知啓発、相談しやすいようにシステムを作ることを具体的にすすめていきたい」等の声がありました。



講師 友納 理緒 先生

海南市防災訓練に参加しました



令和3年11月14日（日）午前10時から海南高校体育館を主会場に海南市防災訓練に看護協会から3名参加しました。地域の各団体が担うそれぞれの役割を体験しました。

看護協会職員は海南市役所の保健師さんと一緒に在宅避難者の健康調査を実施しました。

第18回 男の時短料理

「鶏チャーシュー」

那智勝浦町立温泉病院 看護師 汐崎 健

材料 1～2人分

鶏モモ肉 …… 1枚
★塩、ブラックペッパー … 各少々
☆醤油 …… 大さじ3
☆みりん …… 大さじ3
☆砂糖 …… 大さじ1
☆ごま油 …… 小さじ1
☆にんにくチューブ、しょうがチューブ … 各3cm

作り方

- ① 鶏肉全体にフォークで穴を開ける。
 - ② ★を振り、もみ込む。皮目を下に置き、端から強めに巻き、爪楊枝2本で留める。
 - ③ 耐熱ボールに☆を混ぜ、鶏肉を入れ、ラップをしてレンジで3分30秒加熱。
 - ④ 裏返してラップをし、再度レンジで3分30秒ほど加熱し、粗熱をとる。
 - ⑤ 好みの厚さに切り分け、漬け汁に戻して味を染み込ませる。
- ※鶏肉の大きさにより過熱を追加する。行程5でゆで卵と一緒に漬けてもOK。

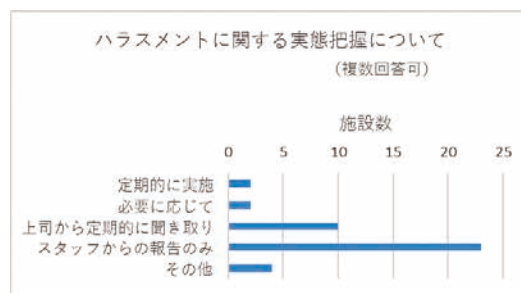
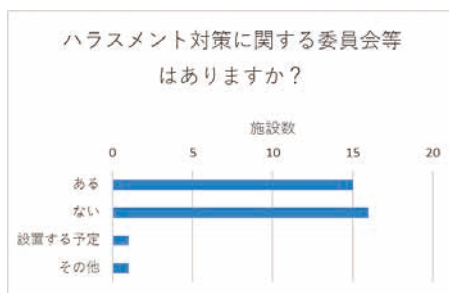
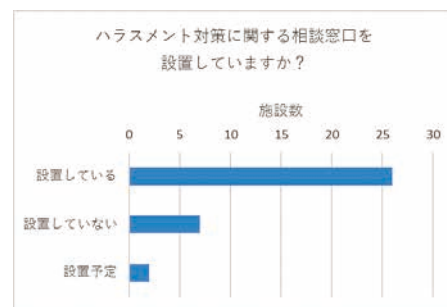
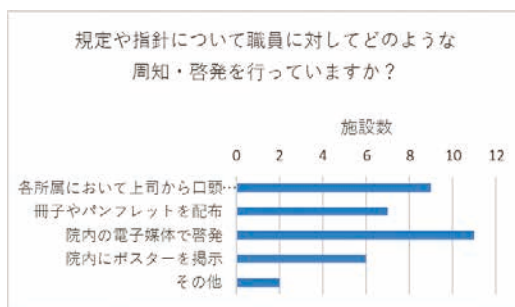
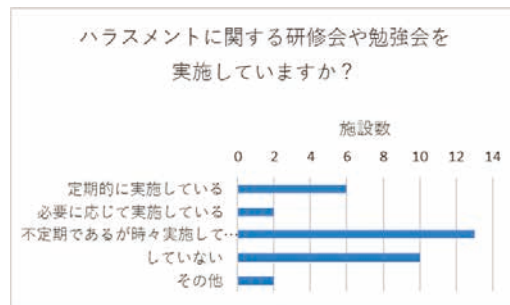
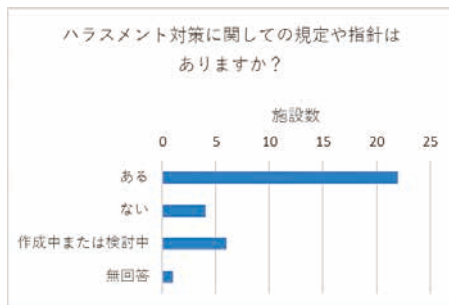


目的

2020年6月にパワハラ防止法で企業に対してパワハラ対策のための相談窓口が義務化されました。社会経済福祉委員会では、和歌山県看護協会における専門職能団体の一員として、役割遂行ができるよう、会員の意識・質の向上を図ることを目的に、ワークライフバランスの推進、禁煙対策等について活動を行ってまいりました。

今回のアンケートは和歌山県内の各医療施設の管理者を対象に、ハラスメントに関する対策や取り組みの実態を調査するものです。この結果をもとに今後、社会経済福祉委員会が企画する研修会等に活かしていきたいと存じます。45施設に対して33施設の回答が得られ、回収率は73%です。

ご協力
ありがとうございました



アンケート 結果

- ハラスメント対策に関して規定や指針はあるが22、ないが4であった。
- 研修会や勉強会を何らかの形で実施している施設は7施設、していない施設は10施設であった。
- 職員の周知・啓発に関しては、院内電子媒体での啓発が最も多かった。
- 相談窓口を設置している施設は26施設、していない施設は7施設であった。
- 委員会設置については、あるが15、ないが16であった。
- 実態把握については、定期的におこなっているが2施設、必要に応じて2施設、上司からの定期的な聞き取りが10施設、スタッフからの報告のみが28施設と最も多かった。

まとめ

今回の調査では、主にパワーハラスメントに関する調査を実施しました。パワーハラスメントは早期発見が重要で、発見が遅れると、仕事に行けなくなり、被害者の人生を大きく左右することにもなりかねません。今回の調査対象病院33施設中7施設において相談窓口が設置しておらず、早急な対策が必要と考えます。

ハラスメントの発生を予防するためには一番重要なことは、自分の常識と相手の常識は異なることを強く認識することといわれています。「自分の若いころは普通だった」ことは、今では普通ではないのかもしれないのです。管理的な立場にあるものは、このことを深く認識してハラスメント防止に努めてほしいと考えます。

社会経済福祉委員会では、今後ハラスメント対策として、研修も実施していきたいと考えていますので、できる限りの参加をお待ちしています。

令和4年度改選役員・推薦委員および 令和5年度日本看護協会代議員、予備代議員への立候補・推薦について

令和4年6月25日（土）に開催する定時総会において、令和4年度改選役員、推薦委員および令和5年度日本看護協会代議員、予備代議員の選挙を実施します。

立候補される方は、正会員5名以上の推薦を受け、立候補届け出用紙を下記に郵送してください。

【改選役員数と役職など】

1. 理事 11名、監事 1名
会長 1名、副会長 2名、専務理事 1名、常任理事 1名、地区理事 5名（伊都、那賀、有田、日高、田辺）、
准看護師理事 1名
2. 推薦委員 8名（任期1年）
3. 令和5年度日本看護協会代議員 6名、予備代議員 6名

【立候補基準】

1. 和歌山県看護協会の目的達成のための活動に積極的に任務を遂行できる人
2. 和歌山県看護協会の会員歴5年以上で、協会組織を理解している人
3. 和歌山県看護協会が定めた会議に出席できる人

【受付期間など】

提出期限：令和4年2月3日（木）必着
立候補届け出用紙は、和歌山県看護協会にあります。
必要な方はご連絡ください。

《お問合せ・送付先》

〒642-0017
和歌山県海南市南赤坂17番地
和歌山県看護協会選挙管理委員長あて（親展）

選挙管理委員会
からのお知らせ

令和3年度 第5回理事会

日 時 / 令和3年12月6日（月）13:30～15:00
場 所 / 看護研修センター 大ホール

I. 協議事項

1. 次年度の重点事業（案）について承認
2. 次年度の事業計画（案）について承認
3. 次年度教育計画概要（案）について承認
4. 会報「黒潮」への広告掲載の可否について承認
5. その他承認

II. 報告事項

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会主催会議報告
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 会員数について
5. その他



東洋羽毛関西販売株式会社様から ご寄付をいただきました

令和3年12月 東洋羽毛関西販売株式会社様から
ご寄付をいただきました。看護協会活動に役立たせて
いただきます。ありがとうございました。

和歌山県
看護協会の
動き

東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

※ 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです ※

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が
講師を務める充実したセミナーをご用意しています。
正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な
毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

水と、空気と、睡眠と。

《お役に立てる主な研修》

- ★ 医療安全対策研修
- ★ メンタルヘルス研修
- ★ 学校保健委員会
- ★ 高齢者の睡眠ケア



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所

和歌山県和歌山市吹屋町3-44-2



お気軽にお問合せください。

0120-32-7766